

## 2017年度 心理学研究科 学術講演会のご案内

下記内容で、学術講演会を開催します。学部生、大学院生はじめ、興味のある方はどなたでも参加可能です。事前予約は不要です。

**SNS から社会の心を読む：「ビッグデータ」の心理学**

**講演者：三浦麻子先生（関西学院大学文学部総合心理科学科 教授）**

日時：2018年1月15日（月）14：55～16：25（4限）

場所：名古屋キャンパス1号館7階171教室（キャンパスマップ）

### 講演要旨

科学としての心理学を支えているのは「データ」です。大学で心理学を学ぶ皆さんは、その測定（収集）・分析方法について幅広く学び、そのスキルを身につけることが求められています。いくつかの手法がありますが、そのほとんどは「研究者によって統制・操作された環境で実施される実験」だったり「研究者が作成した質問紙調査」だったり、研究者が測定（収集）対象とする変数を絞り込んで臨む必要があります。このように、研究関心をシンプルに検証することと、生態学的妥当性（研究結果の現実生活への当てはまりのよさ）の確保は、常にジレンマ状態にあります。特に、私の専門とする社会心理学では、従来の科学的手法を究めることは、学問領域が目指すものとむしろ逆行することさえあります。

こうした従来型のデータを「研究者が作り出すデータ」だとすれば、最近私が研究で扱っているデータは「研究対象が作り出すデータ」です。現代社会では、人間行動の多くは、SNS やブログへの投稿や検索サイトで入力するキーワードなど自発的に提供しているものから、街中に多数設置されている監視カメラに捕捉されているものに至るまで、好むと好まざるとに関わらず記録されています。こうしたいわゆる「ビッグデータ」を、心理学の研究対象とする試みを続けています。

本講演では、私たちの研究グループがツイッターへの投稿データを対象として進めてきた研究から得られた知見をご紹介しますことで、「ビッグデータ」を活用した心理学研究の魅力についてお伝えしたいと思います。